

学 位 論 文 要 旨

氏 名 山崎 真義

題 目 心理リハビリテーションを活用した自閉スペクトラム症児・者への
対人関係発達支援に関する研究

学位論文要旨（和文2,000字又は英文1,000語程度）

本研究の目的は、自閉スペクトラム症児・者に心理リハビリテーションを活用した対人関係発達支援を行うことで、問題行動を含めた自閉スペクトラム症児・者の様々な困難に対して、どのような効果を及ぼす可能性があるのかということを検証することである。

序論においては、自閉スペクトラム症児・者の原因論の変遷やこれまでの様々な支援のあり方、自閉スペクトラム症児・者が抱える問題行動について概観した。また、本研究における障害の範囲及び対人関係発達支援、心理リハビリテーションを定義し、本研究の目的を示した。

第1章では、自閉スペクトラム症児・者への心理リハビリテーションの適用に関する研究動向についてスクリーニングの上、整理を行った。心理リハビリテーションではその中核技法として動作法が位置づけられているが、動作法の適用により自閉スペクトラム症児・者のADLの向上や問題行動の改善、対人関係発達の促進など多様な効果が見られることが分かった。

第2章では、自閉スペクトラム症児・者を含めた障害がある人たちを対象として、地域で協働して行われている動作法を中心とした発達支援活動の意義や課題について整理した。その中で、地域における発達支援活動実践を推進するための要件として、「生涯発達支援の視点に立った発達支援活動の場の整備」「保護者の居場所作り」「関係機関のメンバーとの協働」「発達支援活動を実践できる人材の確保」などの観点が示唆された。また、動作法による発達支援のニーズについて、対象者を分類したグループごとに明らかにした。結果、子どもの実態や保護者の課題意識によって、発達支援に求める内容の差異が示唆された。

第3章では、カナー型自閉スペクトラム症児・者に対して短期間対面の動作法を実施し、問題行動の改善にどのような影響を与えるのかということを検証した。また、改善のメカニズムに対人関係発達がどのように関連しているのかということを考察した。3日間の動作法の実践を通して、対象者のアイコンタクトの数と持続時間の長いアイコンタクトの割合が増加し、さらに動作法実践場面におけるやりとりの質の高まりが見られた。そして、「興奮性」「無気力」「多動」という3つの問題行動に改善が見られた。動作課題を通したトレーナーとトレーニーのやりとりの質の向上が、共同注意の成立や対人意識の向上を含む対人関係発達を促進させ、心身の自己制御能力や自己調整力の獲得に一定の影響を及ぼす可能性が示唆された。

第4章では、自閉スペクトラム症者を含めた発達障害者に対して、オンライン動作法を実施し、心身のリラックスにどのような影響を与える可能性があるのかということを検証した。5名の対象者に対して、3日間連続でオンライン動作法を実施した。心身のリラックス効果を評価した結果、対象者5名中4名がポジティブな気分状態へと変化した。

また、オンライン動作法において、トレーナーと協調して身体を動かすことが、リラクセーションにつながりやすい要因の一つであることも示唆された。これらの結果から、オンライン動作法が発達障害者の心身のリラックスを促す可能性が示唆された。

総合考察においては、自閉スペクトラム症児・者への対人関係発達支援としての心理リハビリテーションの意義を考察した。その中で、動作法実践場面における動作課題を通した相互交渉が、共同注意をはじめとする初期社会性の発達につながり、それらの発達が心身の自己制御能力の形成の土台となっていることが推察されたため、対人関係発達の促進が問題行動の改善にも資する可能性があると考えられた。また、心理リハビリテーションは、保護者への心理的サポートや生活面での継続的なサポートも含む包括的な支援プログラムであるが、長期的なスパンで支援を受けることにより、自閉症スペクトラム児・者の生涯発達や保護者の心理的安定が図られ、安定した日常生活を送るための支援方法になり得ることが考察された。

最後に、本研究の学校教育への適用について提言した。自閉スペクトラム症児・者にとって、動作法は、共同注意などの初期社会性を育むことや対人認知の活性化を促す可能性があるため、自立活動の 6 区分である「健康の保持」「心理的な安定」「環境の把握」「人間関係の形成」「身体の動き」「コミュニケーション」を相互に関連づけることができ、今後自閉スペクトラム症児・者の自立活動に取り組む理論的、実践的背景となっていく可能性が示唆された。

本研究の限界は、研究期間が COVID-19 状況下であったため、研究協力者が通常より限定されていたことであるが、オンライン動作法という手法を用いられたことは、独自の知見といえる。